

たりければ男子にてぞ有ける、母かたのおほぢ、そだてみんとてそだてたれば、いまだ十さいにもみたざるにせい大きう、かはながゝりけり、七歳にてげんぶくせさせ、母かたのおほぢを。大夫と云間、是をば大太とこそつけたりけれ、



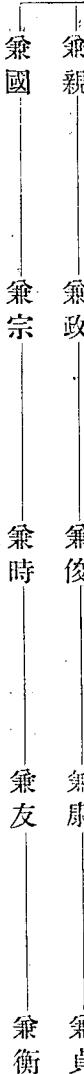
〔宮司近代系圖〕長任 —— 長則 —— 長藤



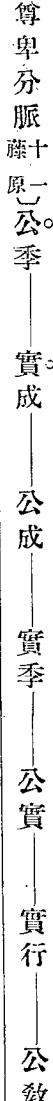
〔尊卑分脈四部〕兼延



〔尊卑分脈四部〕兼延



〔尊卑分脈十一部〕公季



〔源平盛衰記十八〕文覺賴朝勸進謀刺事

文覺ハ渡邊黨ニ遠藤左近將監盛光ガ一男、上西門院ノ北面ノ下臈也。略中十三ニ成ケル年、一門ニ遠藤三郎瀧口遠光ト云者呼寄テ、元服セサセテ鳥帽子子トス、父盛光ガ盛ヲ取、鳥帽子親遠光ガ遠ヲ取テ、盛遠ト名ヲ付、父ガ跡ヲ追テ上西門北面ニ參、遠藤武者盛遠トゾ云ケル。

〔豫章記〕通信ノ子數多有嫡子者、得能冠者通俊、母者新居大夫玉氏女、後ニハ四郎大夫ト云、是得能